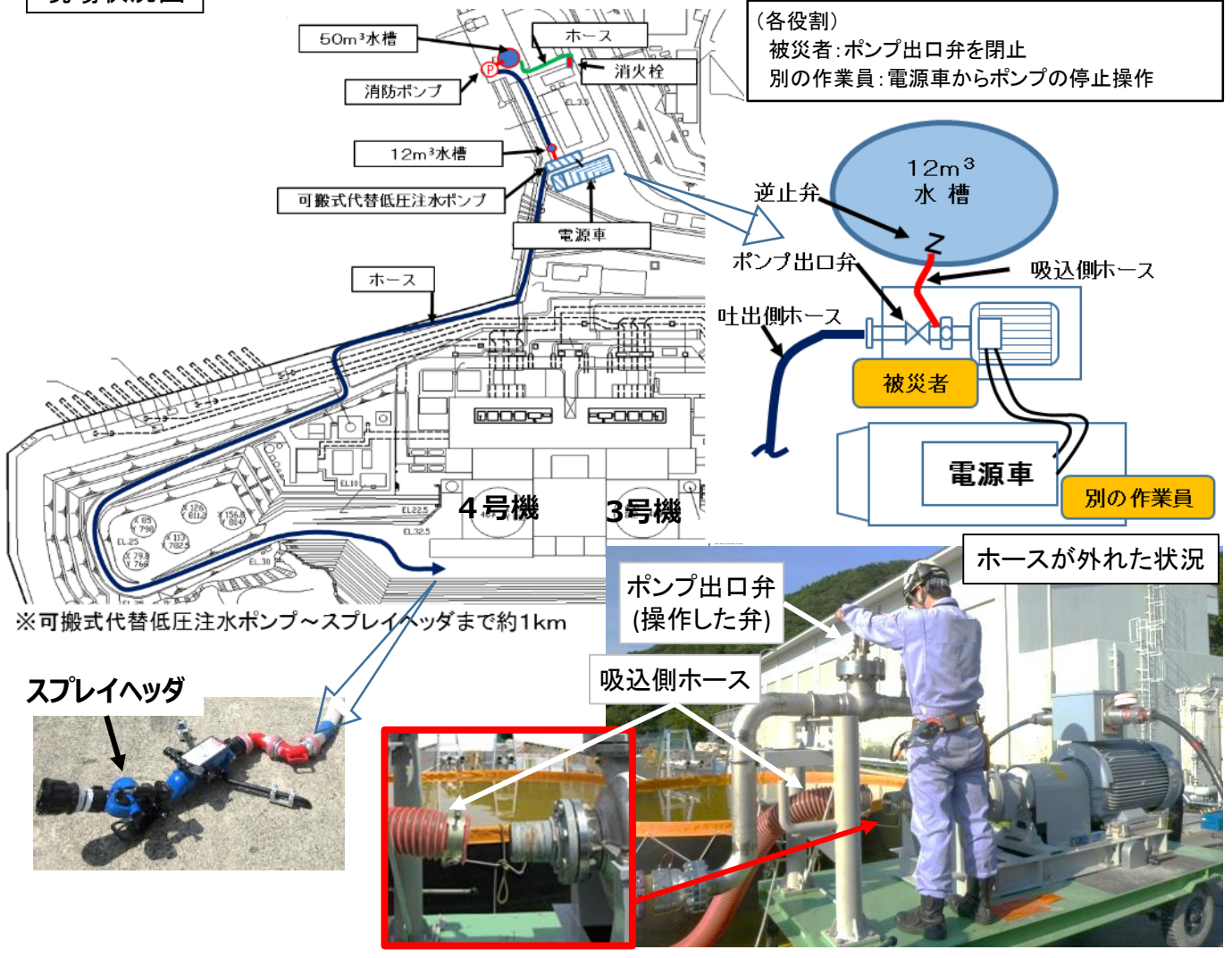


高浜発電所協力会社作業員の負傷について

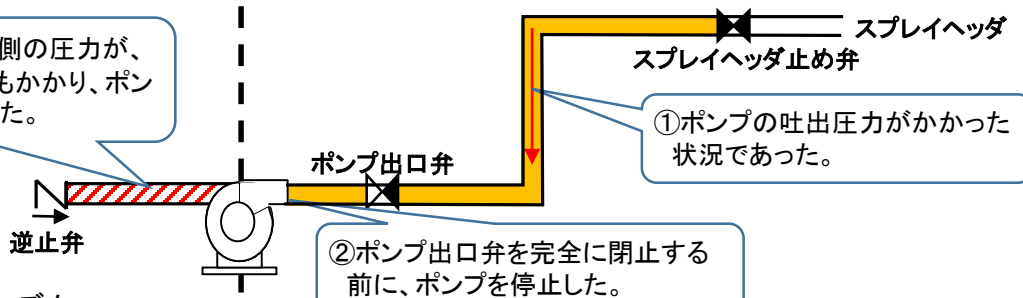
現場状況図



推定原因

○被災者が、ポンプ出口弁を完全に閉止する前に別の作業員がポンプを停止したため、ポンプ出口ラインの圧力が、ポンプ吸込側にもかかり、ポンプ吸込側ホースの圧力が上昇し、ポンプ吸込側ホースが外れ、高温となっていた水※が被災者へ飛散し、負傷したと推定。

③ポンプ停止により出口側の圧力が、ポンプ吸込側ホースにもかかり、ポンプ吸込側ホースが外れた。



※高温水となったメカニズム

・ポンプの停止前にスプレイヘッドの弁が閉止されており、ポンプ内の水は流れがなくなり、ポンプの羽根車の攪拌による摩擦熱によって温度が上昇し、高温になったと推定。

対策

- ポンプの停止に係るポンプ出口弁閉止や、電源しや断等の操作について、手順書に明記し、充実を図った。
- 吸込側ホースを固定するホースバンドを2重化し、吸込側ホースが外れ難い固定方法とする。また、吸込側ホース接続部における飛散防止対策を実施した。